

■東京記念(SⅡ)アラカルト(過去10年の分析)

※記録は9月30日時点のもの

■優勝馬には長距離戦での実績が必要

(優勝馬10頭中5頭が、TCK長距離重賞で連対実績があった)

◇第44回 ウエノマルクン(大井記念2着2回、第42回東京記念2着)

◇第45回 ルースリンド(大井記念2着2回)

◇第46回 ルースリンド(第45回東京記念1着)

◇第47回 セレン(大井記念1着、第46回東京記念2着)

◇第52回 プレティオラス(第50回東京記念1着)

※上記に該当しない馬も、後にTCK長距離重賞で再び連対

第43回 マズルブラスト(後に大井記念2勝《07年、11年》、第45回、第48回東京記念2着)

※いずれにも該当しないのは、第48回テラザクラウド、第49回スマートインパルス(勝島王冠1着)、第50回プレティオラス(東京ダービー1着)、第51回ユーロビート(JRA時代2100m以上で4勝)の4頭。

■2、3着馬は重賞実績が問われる傾向

◇2、3着馬は長距離実績を問われない

(ただし20頭中18頭には2000m戦以上の出走経験があった。例外は第46回2着セレン、第47回3着カキツバタロイヤルの2頭だけ)

◇2、3着馬20頭中、南関東重賞で3着以内がなかったのは5頭

※以前は重賞実績も問われなかったが、近年は実績馬が活躍の傾向。

■前走レースは多様で、短距離戦や重賞以外からでも好走

◇過去10年で、マイル以下のレースに出走していた馬が3勝、2着5回、3着7回と好成績(10年で8回で連対馬を出している)。

◇過去10年で重賞以外のレースに出走していた馬が5勝、2着3回、3着2回と大健闘している

※該当馬10頭中8頭が前走で連対。例外はすでに東京記念2着の実績があった第44回優勝のウエノマルクンと第50回3着ウインペンタゴン(前々走、芝2400m【盛岡】で2着)。

■過去の好走馬が再び活躍する傾向

◇ボンネビルレコード 第42回優勝→第43回2着

◇ウエノマルクン 第42回2着→第44回優勝

◇マズルブラスト 第43回優勝→第45回2着→第48回2着

◇ルースリンド 第45回優勝→第46回優勝→第47回2着

◇セレン 第46回2着→第47回優勝

◇カキツバタロイヤル 第47回3着→第49回3着→第52回3着

◇スターシップ 第49回2着→第50回2着

◇プレティオラス 第50回優勝→第52回優勝

◇ユーロビート 第51回優勝→第52回2着

※2年連続だけではなく、隔年の例も少なくない。

■春の長距離重賞・大井記念との関連

◇東京記念優勝馬の同年の大井記念の成績

不、⑬、②、⑥、①、不、不、不、不、①着

(5戦2勝、2着1回、3着0回)

◇同年の大井記念1着馬の東京記念の成績

③、不、不、⑤、①、②、④、⑫、②、①着

(8戦2勝、2着2回、3着1回)

◇同年の大井記念2、3着馬は7頭が出走して1勝、2着2回

※平成22年セレンが同年の長距離重賞の2冠達成。

※ただし平成26年から大井記念は2000m戦に変更。

■同年の帝王賞出走馬に要注意

◇同年の帝王賞出走馬は3勝、2着3回、3着1回

■高齢馬の活躍に注目

◇3歳馬 0勝、2着0回、3着0回

◇4歳馬 3勝、2着2回、3着1回

◇5歳馬 3勝、2着0回、3着2回

◇6歳馬 1勝、2着3回、3着2回

◇7歳馬 1勝、2着1回、3着4回

◇8歳馬 2勝、2着1回、3着0回

◇9歳馬 0勝、2着3回、3着1回

※活躍の中心は4～6歳馬(7勝、2着5回、3着5回)だが、第44回以降では7歳以上が3勝、2着5回、3着5回と大活躍。

■牝馬の優勝はなし

※牝馬は1頭が出走して3着以内なし。

■外国産馬は3着1回

※2頭が出走して、第43回エイシンチャンプの3着が最高。

■TCK所属馬が一步リード

◇TCK所属馬 6勝、2着2回、3着4回。3着内率40.0%

◇船橋所属馬 4勝、2着8回、3着3回。3着内率50.0%

◇川崎所属馬 0勝、2着0回、3着3回。3着内率10.0%

◇浦和所属馬 0勝、2着0回、3着0回。3着内率0.0%

■3番人気馬が6勝

◇1番人気馬 2勝、2着4回、3着0回。3着内率 60.0%

◇2番人気馬 1勝、2着4回、3着2回。3着内率 70.0%

◇3番人気馬 6勝、2着0回、3着2回。3着内率 80.0%

※優勝馬は上位人気馬だが、とくに3着馬は4番人気以下の馬が活躍している。

(1勝、2着2回、3着6回)

■10年中3回は前2走とも掲示板を外した馬が3着内に入っている

※とくに第44回、第49回は1着、3着馬の2頭が上記条件から3着内を確保。

■現役では矢野義幸、森下淳調教師が2勝

◇矢野義幸調教師は第45・46回を連覇。第47・51回で2着

◇森下淳調教師は第50・52回を制覇

■JBCクラシックとの関連

※同年のJBCクラシックで3着1回

第43回2着 ポンネビルレコード →第6回JBCクラシック3着

第47回優勝 セレン →第10回JBCクラシック6着

第48回優勝 テラザクラウド →第11回JBCクラシック5着

第52回2着 ユーロビート →第15回JBCクラシック6着

■⑤番⑨番が2勝

馬番号	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯
1着	0	1	1	1	2	0	1	0	2	1	1	0	0	0	0	0
2着	1	0	1	1	0	2	2	0	0	0	1	1	1	0	0	0
3着	0	1	0	1	1	1	0	1	0	2	0	2	0	1	0	0

■東京記念(SⅡ)アラカルト(過去全 52 回の分析)

※第 38 回以降は、ハンデ戦から別定戦に変更

※記録は 9 月 30 日時点のもの

■1 番人気馬の勝率は 36% 台と低調

◇1 番人気馬 19 勝、2 着 11 回、3 着 5 回。3 着内率 67.3%

◇2 番人気馬 8 勝、2 着 10 回、3 着 5 回。3 着内率 44.2%

◇3 番人気馬 10 勝、2 着 7 回、3 着 9 回。3 着内率 50.0%

■人気上位馬 3 頭からの優勝確率は 71.2%

◇52 回中 37 回が 3 番人気以内の馬による優勝(71.2%)

◇52 回中 16 回が 3 番人気以内の馬によるワンツースリー(30.8%)

◇52 回中 5 回が 3 番人気以内の馬によるワンツースリー(9.6%)

■4 歳馬が 22 勝で圧倒

◇3 歳馬 4 勝。勝率 7.7%

◇4 歳馬 22 勝。勝率 42.3%

◇5 歳馬 15 勝。勝率 28.8%

◇6 歳馬 7 勝。勝率 13.5%

◇7 歳馬 2 勝。勝率 3.8%

◇8 歳馬 2 勝。勝率 3.8%

■牝馬は 4 勝

◇第 29 回 ドラールオウカン

◇第 30 回 ホワイトシルバー

◇第 34 回 マキバサイレント

◇第 40 回 ネームヴァリュウ

■外国産馬は未勝利

■的場文男騎手が最多の 7 勝

※的場文男騎手は第 41・42 回の連覇など、歴代最多の 7 勝。

■最多勝利調教師が 10 人

※半世紀もの歴史があるが、歴代最多勝利は 2 勝。現役では矢野義幸、森下淳調教師が 2 勝を挙げている。

■③番④番⑤番⑦番が6勝

馬番号	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯
1着	5	2	6	6	6	4	6	2	3	2	3	2	3	2	0	0
2着	7	6	4	7	4	6	6	5	3	0	1	1	1	0	1	0
3着	6	6	8	4	2	6	1	3	2	3	2	4	2	2	0	1

※⑧番から内が計37勝で、勝率71.1%

■⑤枠⑥枠が9勝で一步リード

枠番号	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
1着	6	2	8	8	9	9	5	5
2着	10	3	8	14	3	5	5	4
3着	6	11	6	4	5	9	6	5